

# 日本JCシニア・クラブ

東京JC

わがLOMのシニア・クラブ  
世代を超えた交流が  
信頼を作る

## 歴史あるシニアクラブ

東京JCシニアクラブは、昭和44年に発足し、現在は会員数3210名を数えます。もちろんこれは、現役会員の数倍の規模です。

東京JCシニアクラブの特徴は、歴史の長さゆえの「年代の幅広さ」にあります。昭和24年に日本で最初のJCを創立したチャーターメンバーもまだ健在で、実業界で活躍中です。

また、世代を超えた交流が盛んに行われていることも、特徴の一つとなっています。シニアクラブの会合では、至る所で、和気あいあいとした雰囲気醸し出されています。

## 文化の薫り高い例会

運営は、毎年選ばれる世話人と名付けられた会員によって行われており、世話人代表と副世話人代表は、歴代理事長が1年任期で務めています。本年は、和田光司氏が、世話人代表の任に当たっています。

今年も、現役との交流を大切にす



新年例会で鏡割りをする和田代表（左から2人目）

新年例会で現役とともに



桜が満開の頃に開かれた春季例会でのコンサート

た。現役会員と合わせ、約5000人の交換会となり、シニアクラブ会員が現役会員に、自分の持っていた夢を語り、伝えていく場面が、会場のあちらこちらで見られました。現役会員の中には、二代目会員も多く、世代を超えた交流の重要性を認識できる名刺交換会となりました。

続いて京都会議では、懐かしい場所で懇親会が開催され、日本JCシニアクラブとの交流も深めることができました。

恒例の春季例会は、三井倶楽部で開催いたしました。桜花満開のもと、歴史ある建物で、ピアノとバイオリンの美しい音色を楽しみました。夫婦同伴の会員も多く、温かい、喜ばしい雰囲気、文化の香り豊かな例会となりました。



昨年の秋季例会では江戸情緒を楽しんだ

さらに9月には、秋季例会として、浅草割烹料亭にて江戸の文化溢れる企画の楽しい例会を開催する予定です。

## 現役事業に協力

東京JCは、現在、地域から国を変えていこうと、教育、政治・行政、環境、福祉、国際、経済という6つの大きな政策において事業を進めています。どの事業も大きな事業で、現役の方だけでは開催が難しいものばかりです。

例えば、3年前より進めている国會議員、都議會議員、区長の選挙の公開討論会では、都内23区それぞれのシニアクラブ会員が、現役と共に行動しています。また、中国霊宝市における植林事業にも参加しています。

これらの共同の作業は、シニアクラブ会員と現役会員との信頼関係を強固なものとしています。

（東京JC シニア・クラブ

世話人代表 和田光司）